

Bulletin

全国ケーブルトラフ協会

会報

2006年第14号

Contents

P1	第4回通常総会のご報告
P2~P3	W・駐輪ブロック事業の経過報告
P4	詩

第4回通常総会のご報告

第4回通常総会が下記の通り開催されました。

記

日 時 平成18年5月25日（木）14時30分より開催

場 所 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5 TEL 048-647-3300
パレスホテル大宮 4F会議室

正会員数 23 定足数 12

出席正会員数 18（内出席12・委任状6） 欠席数 5

議事の経過・概要及び議決

風祭副理事長の司会により進行、議事録署名人は広瀬稔・大久保正弘氏が、議長は田所理事長が選出され、以下の順に議案を総会にはかり議決しました。

第一号議案 平成17年度年事業報告及び収支決算報告承認に関する件

事業報告及び収支決算報告について市村事務局長より報告、つづいて長谷川監事より監査結果報告がされ、全会異議なくこれを承認可決しました。

第二号議案 委員会組織及び委員改選案承認の件

田所理事長より委員会組織及び委員改選案が提示、説明され、全会一致で原案を承認可決しました。

第三号議案 平成18年度事業計画案及び収支予算案承認に関する件

事業計画案及び収支予算案について、市村事務局長より原案の説明があり、全会一致で原案を承認可決しました。

なお、総会に先立ち事務局よりW・駐輪ブロック事業計画案が示され、第二・第三号議案の審議・議決を経て、収益事業委員会にて計画を進めて行くことになりました。

また、総会后、日本工業大学・岩隈助教授による「NPOにおける収益事業」および岩崎不動産鑑定事務所・岩崎所長による「資産運用について」の二つの特別講演がありました。



岩隈助教授



岩崎所長

W・駐輪ブロック事業の経過報告

W・駐輪ブロック事業の経過と現状についてご報告いたします。

不振を続けるコンクリート業界の中であって、環境改善に寄与する分野は将来大きな市場となると思います。

岩隈顧問の開発によるW・駐輪ブロックを協会の事業として取組むことは、会員各位の事業に活性化をもたらすとともに、NPOとして社会に役立つ活動として一鳥二石の効果が期待できます。

そういう目的で始めた活動ですが、すでに二年経過いたしました。

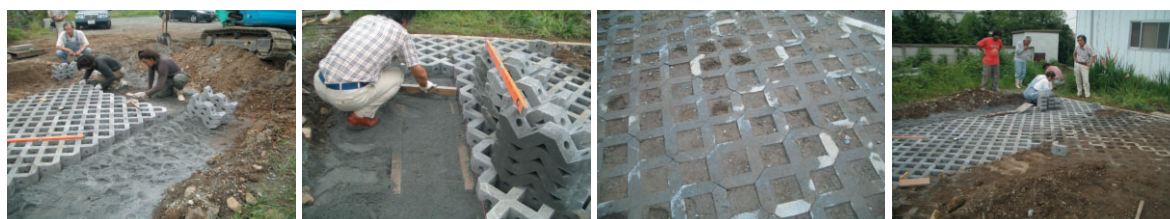
当初、平成16年度事業計画立案に際し、岩隈顧問よりNPOの事業として提案され、16.8.25の理事会で、協会では普及に向けパンフレットの作成など広報活動を推進し、事業化は有志会員が行う方針を決定しました。

これにより、日工大敷設現場見学（16.7.7・8.27）、アンケート調査（16.10.22）、環境整備講演会（岩隈・東十条区民センター16.10.15）、パンフレットの作成（17.6.16）などの活動を行いました。

事業化については、唯一取組む姿勢を示したタマコンにより、日工大構内整備の受注を目標として型枠・価格・仕様の検討などが行われました（16.12.27）が、工期・数量などが不明であったため具体的な活動には至りませんでした。

17.10.4、日工大構内整備事業実施が確実との情報により、生産を開始する必要に迫られたため、短期間大量生産が可能な即時脱型方式を採用することとし、賛助会員の脩巧商事の協力を得て即脱成形機1台を作成しました。

（株）タマコンにてWブロックの敷設実験（18.7.15）



タマコン施工完成後、芝を貼った敷設実験（18.7.18）



17.12.13、タマコンにて試作、試験、価格の検討会が行われ、生産活動が開始されました。機械の投資資金は18.1.16の臨時理事会で理事・監事・製造担当の5社が等分負担することになりました。同理事会では協会の収益事業化案を審議し、18.5.25の通常総会で承認、収益事業委員会が事業化を担当することになりました。

18.2.10、日工大の施工業者である伊草建設との折衝などが行われましたが、大学と施工業者との間で齟齬が生じ、工事は延期となり受注決定には至りませんでした。

日本工業大学での採用が延期される中、急浮上してきたのが埼玉県による江南町環境整備事業でした。その設計を担当する栄設計社への設計売込みを、新設された収益事業委員が担当し営業活動を開始しました（18.7.14）。その過程で、品質資料の提出を求められ、急遽、アゲオ・マンホール商会による、JASS規格に準ずる曲げ・圧縮試験を実施（18.7.17・18.7.26）、同時にタマコン構内における敷設実験（18.7.15）、また岩隈顧問による施工マニュアルの整備が行われました。

江南町案件の発注は、埼玉県により8月中に行われる予定です。

競合する先発ブロックメーカーは3社ほどありますが、価格・強度・機能・施工性の何れに於いてもWブロックが優れていると自負しています。

ただ、未だ実績がないのが難点で、今後、小さな物件で実績を積み、次第に大型受注・公共事業に展開できればと思っています。

駐輪ブロックについても数度の引き合いがありましたが、これはアゲオさんが保有する型枠が1台のみですので、今後の課題となっております。

なお、収益事業委員会では長谷川トラフさんのリバーシブル点字ブロック「リブロ」、オーイケさんの低型車止めブロック、自動販売機ベースブロックなど会員会社開発商品のご紹介をすべく検討しています。

会員各社の更なる御支援・御協力を乞う次第です。

アゲオ・試験室でのWブロック曲げ・圧縮試験（18.7.17）



マンホール商会茨城工場での曲げ・圧縮試験（18.7.26）





高楼（惜別の歌） 若菜集所載

島崎 藤村 作詞
藤江 英輔 作曲

妹	とほきわかれに かなしむなかれ	たえかねて わがあねよ	このたかどのに たびのころもを	のぼるかな ととのへよ
姉	わかれといへば ながるるみづを	むかしより ながむれば	このひとのよの ゆめはづかしき	つねなるを なみだかな
妹	したへるひとの ふゆやまこえて	もとにゆく きみゆかば	きみのうへこそ なにをひかりの	たのしけれ わがみぞや
姉	ああはなとりの けふわかれては	いろにつけ いつかまた	ねにつけわれを あひみるまでの	おもへかし いのちかも
妹	きみがさやけき きみがみどりの	めのいろも くろかみも	きみくれなるの またいつかみん	くちびるも このわかれ
姉	なれがやさしき なれがこころの	なぐさめも ことのねも	なれがたのしき またいつきかん	うたごゑも このわかれ
妹	きみのゆくべき そでのしぐれの	やまかはは ふゆのひに	おつるなみだに きみにおくらん	みえわかず はなもがな
姉	そでにおほへる ながくれなるの	うるはしき かほばせに	ながかほばせを ながるるなみだ	あげよかし われはぬぐはん

【解説】 若菜集を読むと、嫁ぐ姉を送る別れの詩である。

若菜集は明治30年、藤村25歳の時出版された処女詩集である。

キッチリとした七五調の美しい詩は藤村の感受性の豊かさ気高さを感じさせる。

歌として広まった昭和19年といえは戦争末期である。作曲者はどんな気持ちでこの詩に曲を付けたのだろうか？ また、身の上になんかあったのだろうか？

この歌には数知れぬ別離の思い出がある。人生とは何故こんなに別れが多いのだろうか？ 愛別離苦… 八大苦の一つだ。特に、死別のときには、また逢うことができない。

一期一会とは良く云ったものだ。生別であっても、それっきりという別れも多い。人との出逢いを大切にしてきたつもりではある。出逢いには未来があり、別れには過去がある。

大切な人との別れのときこの歌を唄う。その人との思い出を込めて…。